



**事業名** : 灯台FES日御碕2024

**実施団体名** : 日御碕・鷺浦灯台利活用プロジェクトコンソーシアム

**対象灯台** : 出雲日御碕灯台（島根県出雲市）

# 企画概要

## 事業名：灯台FES日御碕2024

2024年11月23日（土）

「灯台FES日御碕」を、日御碕灯台の定番のイベントとし、日本一高い灯台が、日本一親しまれる灯台になることを目指します。2024年7月の豪雨災害により日御碕地区につづく道路が陥没。一時、日御碕地区は孤立しました。これを受け、2年連続での開催となる今年のテーマは「再興！さあ行こう！日御碕灯台」です。災害を機に地元の自治会、商店街、行政の結束が増し、ピンチをチャンスに変えることで、これまで地元にとって“お客さん”だったFESを、自分事化することで、持続可能な灯台FESにしていきます。また、課題である収入については、イベント協賛、出展料、イベント参加費、クラウドファンディングを実施することで獲得。支出についてはボランティア（灯台ファン）の獲得、イベント備品の購入などで、次年度以降の支出を軽減します。



### 目指せ！4,000人の集客！

2023年度のFESでは、3,300人以上が来場し、大盛況となった。今年はそれを更に上回る4,000人集客を目指す。課題は駐車場と公共交通機関の利用促進。地元の協力を得て、駐車場の拡充を調整中。

### 灯台ならではの演出を

ライトアップに加え、FESの灯り、行燈の灯りで灯台エリアを照らし出します。昼だけでなく、灯りが灯る灯台を、来場客に存分に楽しんでもらいます。

### アーティストと日御碕地区の一体感を

アーティストがまた来たくなるFES、地元の人たちと一緒に触れ合えるFESにするため、アーティストと地元の人たちの垣根をなくしたFESにすることで、持続可能性を高めます。



## 災害に負けない！灯台

2024年7月に出雲市を襲った大雨により、日御碕灯台につながる道路が陥没。日御碕地区は一時孤立しました。道路の完全復旧の見通し立っておらず、飲食店や宿泊施設は約2カ月休業を余儀なくされました。災害に負けず、力強い日御碕地区・灯台を目指します



提供 島根ドローンサービスセンター



## 地域が結束！ご縁の灯に

灯台を活用したイベントはこれまで、環境省や出雲市など行政予算がついた時のみ開催されていて、地元主導のイベント開催がありませんでした。今回の災害・ピンチをチャンスに転換し、地元連携が強固になり、地元主導で持続可能な開催を目指します。



## 閑散とする昭和な観光地

島根一の知名度・誘客を誇る出雲大社に隣接し、地区には有名リゾートホテルがあるにも関わらず、日御碕商店街は空き家が目立ち、閑散としている。また古い建物も多く昭和な雰囲気が漂っている。



## 目標

### Plan / 計画時点

本イベントは昨年度約3,300人が来場し大盛況となった。今年の開催時期は9月～11月頃として、灯台記念日である「11月1日」に向け、機運を島根から盛り上げていく。連携先として地元教育委員会を加えることで、教育活動と文化発信・集客のWIN-WIN-WINの関係を構築し、次年度以降の自走化に向けた道筋をつける。



### Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

2024年11月23日に開催した「灯台FES日御碕2024」には、県内外から約2,200人が来場した。今年は日御碕地区の若手有志や、地元自治会、地元土産物組合など、日御碕地区の住民の皆様との連携を強くすることで、地元の人たちに愛されるイベントを目指し開催した。

# 企画運営パートナー

1

## 出雲市観光協会・出雲市観光課

新しいイベントの構築・定着で出雲日御碕灯台の価値・魅力を県内外に発信でき、集客により地元活性化にもつなげる。

2

## 地元教育委員会

イベントで音楽など表現の場を提供することで、中高生の活動の場を広げ、教育活動の場とする

3

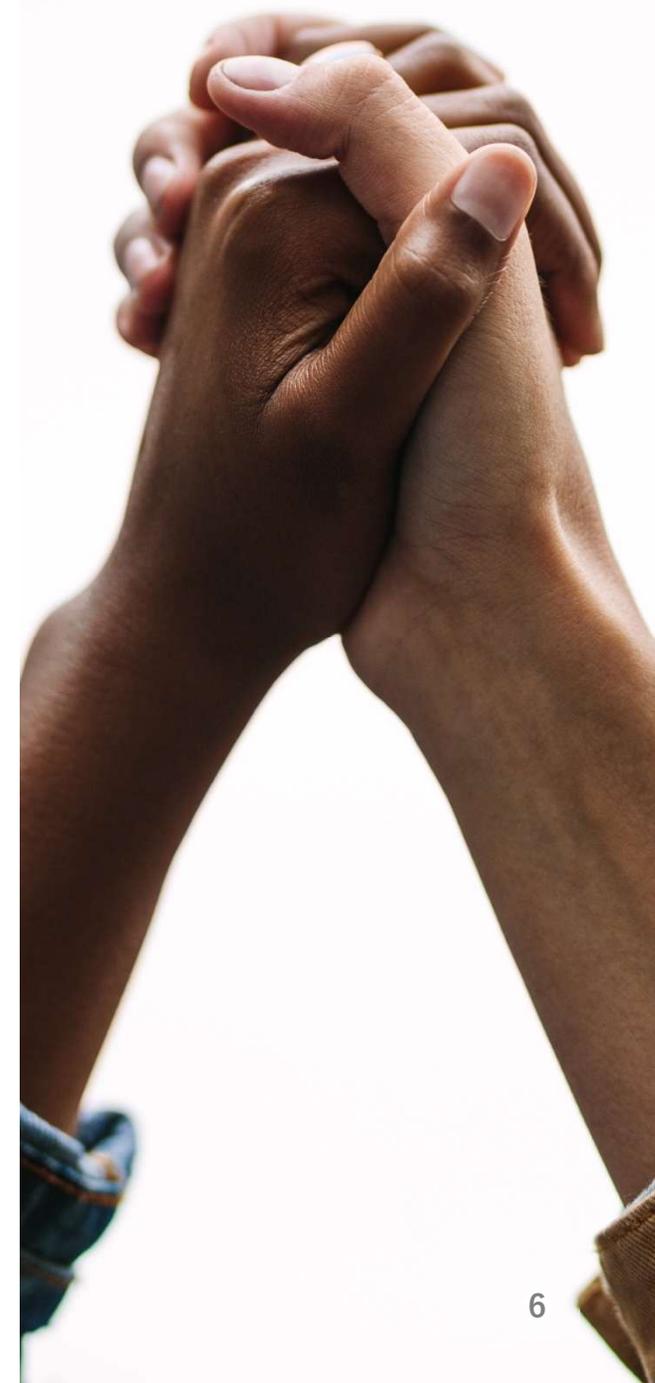
## 島根大学

ボランティアによるスタッフ参加。  
運営費用を抑え、持続可能なイベントとする

4

## 地元自治会（若手有志）

自治会の巻き込みにより、イベントを自分事化し、参加型のFESとすることで、持続可能性をさぐる



## 予定にはなかった地元自治会、地元有志との連携を強化

1

### 出雲市観光協会・出雲市観光課 ≫ 行政機関連携で商店街が一体的に開催

出雲市と観光協会と連携することで、日御碕地区にある観光案内所「ビジターセンター」とともにイベントの準備、運営することができ、準備段階での地元調整や、イベント当日の広報がスムーズに行えた。

また、行政機関とコンソーシアムを組んでいることから、信頼性も増し、灯台エリアの利活用に必要な行政申請事項（環境省、海上保安庁、消防、県、保健所）がスムーズに行えた

2

### 日御碕土産物組合 ≫ 商店街連携で、灯台周辺エリアも含めたイベント開催に

灯台FESの主会場は灯台の麓の海上保安庁が管轄するエリアだが、来場客はその手前にある商店街を通過して灯台に向かうため、商店街を含めたイベント運営が不可欠。そこで商店街を切り盛りする土産物組合と期間限定の「灯台どんぶり」や「灯台パフェ」を開発・提供することで、灯台エリアが一体的にイベントに取り組めた。

3

### 教育委員会・島根大学 ≫ 災害復興に注力した結果、教育機関との連携は難しかった

大雨による道路陥没の影響で、イベント開催時期が11月下旬に絞られた結果、元々連携を予定していた高校生、中学生がテスト期間に入ったため、イベント出演、参加ができなくなった。大学生の参加も一部のアルバイトにとどまった。

4

### 地元有志 ≫ 地元自治会、若手有志と初めて連携した

若手有志はイベントでの出店や集客を担当し、自治体はイベントの広報、駐車場対策などを担当頂き、より地元の根差したイベントになった。25年度も地元発で開催しようという動きになっている。

## 良かったこと



 「災害を乗り越え一丸に」  
大雨による日御碕地区の孤立という、大ピンチをみんなで乗り越えていこう！という空気が、イベントの成功につながった。特に灯台ステージで初実施した、地元の名物が当たる抽選会は、地元の人や、観光客が一体になって、楽しんだ瞬間だった。

 「メディアの発信も追い風」  
イベント告知用に開催した、灯台グルメお披露目会にはテレビ・新聞が複数社訪れ、大きく報道された。



## 反省点・改善案



ステージ設営、トラス設営、照明を中心に経費がかなり掛かっている。自走化へ収益には足りておらず、課題が残る結果となった。



今回収入は、災害支援（募金）、ブース収入がメインだったが、売上は全体で十数万にとどまっている。

# 事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

## 灯台FES日御碕2024

### 音楽 & 大抽選会ステージ

島根ゆかりのアーティストが出演し、灯台と音楽を1日中提供することで、灯台の新たな楽しみ方を創出。地元アーティスト、大抽選会など地元の皆さんと一緒にステージを盛り上げます



### 灯台スタンプラリー

灯台エリアを巡るスタンプラリーで子どもや家族連れ楽しめる。

### 灯台グルメマルシェ

灯台エリアで食べ歩きできる場を提供する。灯台オリジナルグルメを開発する。食べ歩きや、チェアの設置で灯台をゆったり楽しむ。



### 灯台ガイドツアー

灯台+神社+ジオパークを巡るガイドツアーの実施

### 行燈 & 夜間観覧

灯台と商店街を行燈で照らし出します。夜間観覧も灯光会と連携して開催し、日が落ちてからも楽しめる灯台を演出します



## 「再興！さあ行こう！日御碕灯台」

- ◇災害を乗り越え、地元と結束し、持続可能な灯台イベントを目指す
- ◇収益化、予算軽減をし、持続可能な灯台イベントを目指す

## 地元の人たちが中心になり、灯台グルメが堪能できる抽選会を開催！

### 1 音楽&抽選ステージ

・甲子園を沸かせた大社高校の応援歌バンドや、地元若手アーティストを中心に参加してくれ、地元アーティストの活躍の場として、灯台という選択肢ができた。

・抽選ステージのプレゼントは、地元商店街の協力により、イカ焼きなどを用意。地元の方々の好意により開催することができた

### 2 灯台グルメ

今年も灯台グルメとして「灯台海鮮丼ぶり」と「灯台サンデー」を地元商店街が好意で開催してくれた。イベント数日前に実施したメディア内覧会により、イベントの開催告知をすることもできた

### 3 行燈・夜間観覧

夜間観覧は、境海上保安部の許可が下りず、できなかった。行燈は地元行政機関が管理しているものを流用し、低予算で実施することができた。

### 4 灯台スタンプラリー

地元観光協会が運営する日御碕ジオパークセンターと一緒にスタンプラリーを実施することができた。灯台の麓の会場と、周辺のエリアの繋がり活性化にも寄与した。

### 5 灯台ガイドツアー

昨年の「灯台FES日御碕2023」で、ガイドツアーを広報するツール（のぼり旗など）を制作していただいたので、過去の蓄積を生かし、スムーズに運営・案内することができた。



## 👍 良かったこと

👍 灯台グルメは、今年も完売した。期間限定で販売するメリットを感じた。訪れた人は、せっかくなので、価格が少々高くても、貴重な商品、その土地ならではの“モノ”にお金をかける傾向がみられた。

👍 抽選会は、初めて実施したが、盛り上がりの面では、過去最大だった。また、商品を提供してくれたのが地元の商店街だったので、より盛り上がった



## 反省点・改善案



中学生、高校生、大学生など、若い世代がテスト期間などと重なった結果、関わりが低調だった。日程を早めに決めて、巻き込みを強化していきたい。

# 顧客ターゲットと 提供するベネフィット

## メインターゲット

### 1 ファミリー層

出演者の親世代（30 - 40代）が訪れることで、子どもたちに魅力をより感じてもらいたい。また地元のシンボルとして、地元の人にとって活動の場として認識して頂きたい。

## サブターゲット

### 2 アーティストのファン層

灯台リテラシーは高くないと思われるが、この機会に灯台の魅力と価値を感じてもらいたい。灯台ファンの獲得で、発信の強化につなげる

### 3 観光客

島根の魅力の一部として認識して頂き、県外に日御碕灯台を発信してほしい。

### 4 地元民

もっと活用、親しみやすい灯台とし、持続可能性に繋げる



## 地元ファミリーに愛されるイベント・灯台へ

### 1 地元の人たち

#### <メインターゲット>ファミリー層

今回、ブース9店舗の内、2店舗を地元有志が運営。その他にも地元有志の繋がり、出店いただく店舗もあり、芋づる式に、観光客が増えた。

### 2 観光客

#### もっと地元感があっても良いかも

観光客にとっては、日御碕灯台自体が非日常の空間なので、見たことのないアーティスト、地元ならではのブース展開が必要

### 3 シャトルバス運営

#### ポテンシャルはまだまだある！

2023年度の「灯台FES日御碕2023」では大渋滞が発生し、せっかく運営したシャトルバスに乗車する人も少なかった。そこで、2024年度は地元と協力して駐車場を2倍以上設置し、シャトルバスの運行本数も増やして運営した。

## 良かったこと



 地元のファミリー層、三世代家族など、幅広い年代の方が参加してくれた。ブースや、飲食用のテーブル周辺、イベント会場の芝生の上、灯台外周のレンガの上などでくつろいでいる姿がとても“灯台的”で、心地よかった

 地元の自治会、自治会長と、深く連携することで、駐車場を増やすことができた。



### 反省点・改善案①

アーティストのファンの来場が少なかった。メジャーな人が少なかったこと、中学生、高校生の出演がなかった。

### 反省点・改善案②

11月に開催したため寒く、観光客が少ないシーズンになっていた。2025年度は10月までに開催して、より多くの観光客の誘客を目指したい。

### 反省点・改善案③

2,200人程の来客があったが、駐車場が全て満車になることはなかった。周知に課題を残す結果になった。

### 反省点・改善案④

観光客の目的地は基本は出雲大社であり、日御碕灯台ではなかった。ただ2番手になれるポテンシャルが灯台にはあるので、それを目指したい

# チャネル

～顧客に事業の価値を届ける  
経路、確認する経路～



## 認知の獲得

ポスター・チラシ：10月末リリース



- ・公式SNS、公式HP：  
10月中旬にリリースし、随時更新していくことで興味関心の向上を図る
- ・テレビスポットCM：  
11月から放送を開始し、マスメディアと連携した発信を図る

- ・ニュースリリース、関係団体のHP等での発信：10月中旬に発信し、他エリアへの訴求も目指す。
- ・ラジオ・新聞：地元多メディアと連携し11月に掲載する。

## 灯台ウィークと連携

11月1日灯台の日、灯台ウィークと連携することで、ニュースなどを通じ、本イベントの周知拡大を図る

## 災害を逆手に

豪雨災害支援に乗り出す行政と連携し、併せて本イベントの周知拡大を呼びかける。



## ブームアップとして灯台グルメ発表会を開催

テレビ・新聞で大きく取り上げられ、集客にも寄与

### 1 認知の獲得

イベントのポスター、チラシ、TVCM、新聞告知、SNSに加え、灯台グルメのお披露目リアルイベントを日御碕地区で開催した。お披露目イベントには、テレビ・新聞が取材に訪れ、認知拡大につながった。



### 2 災害を逆手に

日御碕地区と主要道路を結ぶ道は、今も完全復旧しておらず、管轄する県がその復旧状況をこまめに発信しているため、放送局がそのニュースを取り上げる際に、可能な範囲でイベントの告知を入れ込んでもらった。

## 👍 良かったこと

👍 灯台どんぶりと、灯台サンデーを地元商店街と協力して開発し、そのお披露目会を実施したことで、テレビ、新聞が大きくメディアで取り上げた。



## 反省点・改善案



民放各局、NHKも興味を示すイベントにすると、更に認知が向上する。

顧客との長期的な  
関係構築のために  
実行できる施策

## 海プロとの連携

来年10年目を迎える海と日本プロジェクトの島根事務局や、TSKと連携することで、次年度以降新たな側面でのイベント連携を模索する。

## クラウドファンディング

次年度以降の開催も見据え、クラウドファンディングを地元と連携して実施することで、関係の継続と持続可能な開催に繋げる

## 災害対策

灯台エリアは急傾斜地にあり、また迂回路がない場合が多く、豪雨災害は再び起きる可能性がある。

地元のお祭りや、商店街・宿泊施設との連携を密に図ることで、災害が起きても寄り添える関係性を保ちたい。



## 1 海と日本プロジェクトとの連携

### 2025年度以降も出雲市とタッグ継続

海と日本プロジェクトinしまねが海の清掃活動や、高校生イベントで連携している出雲市と、本プロジェクトは連携しており、横の連携も続けていくことで、25年度以降の自走化を予定している。また、25年度は灯台WEEKのブームアップを兼ね、10月末頃の灯台FESを調整中。

## 2 クラウドファンディング

### 地元若手チームとともに取り組みたい

日本一高い灯台をもっと多くの人に知ってほしい。そのストロングポイントを押し出し、地元の若手チームとイベントを構築する予定。25年度は出雲市の商工会議所青年部とのタッグも調整中。

## 3 災害対策

### 復興2.0

陥没した道路はまだ仮復旧で、本開通はまだまだ先。大雨被害が激甚化している中で、来年以降も同様の災害が起きる可能性はつきまとう。交流人口が多いことは、災害復興のスピードと比例するので、事業を続けていく方針。

## 良かったこと



 日御碕の地元イベントと海と日本プロジェクトの連携で、地元住民の皆様との関係構築

 出雲市観光協会が日御碕周辺で実施するイベントを、取材、放送することで、日御碕地区の話題を年間を通じて発信した。

 イベント開催半年前から、月に1回の、会議を日御碕地区にて開催し続けた。



## 反省点・改善案



出雲市から直接的な予算獲得には至っておらず、行政の関与をより大きくしていきたい。

# 事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

# 01

人、物、情報

人

【当日】  
出演アーティスト、  
飲食ブース出展者  
事業企画プロデューサー、  
事業進行ディレクター、  
イベント運営スタッフ、  
広報スタッフ、経理スタッフ

【協力者・企業・団体】  
出雲市、出雲観光協会、  
地元自治会、地元有志、  
海上保安庁、商店街・旅館組合

物

灯台特設ステージ、テント・椅子・発電機等の備品、ポスター・チラシ・ウェブサイト・X、Instagram・動画・グッズなどのPRツール

情報

出雲日御碕灯台の歴史や役割、物語



## 1 人

### 【当日】

出演アーティスト、飲食ブース出展者、事業企画プロデューサー、事業進行ディレクター、イベント運営スタッフ、広報スタッフ、経理スタッフ

### 【協力者・企業・団体】

出雲市、出雲観光協会、地元自治会、地元有志、海上保安庁、商店街

## 2 物

灯台特設ステージ、テント・椅子・発電機等の備品、ポスター・チラシ・ウェブサイト・X、Instagram・動画・グッズなどのPRツール、募金ツール

## 3 情報

出雲日御碕灯台の歴史や役割、物語  
出雲日御碕地区の歴史と地域再興への思い

## 良かったこと



 地元日御碕出身の歌手や、地元出雲市大社町から甲子園で旋風を巻き起こした大社高校応援歌メドレーなど、出雲に特化したアーティストを集め、地元ならではの、音楽イベントにできた。

 環境省、海上保安庁、消防、島根県、保健所など、許認可が必要な行政機関との関係が構築され、2年目となった今回は、スムーズな申請、認可作業ができた。



## 反省点・改善案



・開催時期を25年度は教育委員会と調整し、地元高校生、中学生と連携した音楽FESにしたい。また、地元連携が深まってきたので、灯台と地域の歴史も併せて発信していきたい。

# 02

許認可

## 許認可

出雲市

私有地使用許可

環境省

国立公園使用許可

海上保安庁

国有地および灯台使用許可

保健所

飲食提供許可

消防本部

火気使用許可

出雲市

私有地使用許可

環境省

国立公園使用許可

海上保安庁

国有地および灯台使用許可

保健所

飲食提供許可

消防本部

火気使用許可

島根県土事務所

道路使用許可



# メディア露出



山陰中央新報 11月20日朝刊



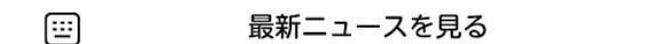
山陰中央新報 11月21日 朝刊



TSK Live News イット 11月21日夕方ニュース



日御碕ビジターセンター 広報誌



山陰中央新報 11月22日 LINEニュース



5:48



TSK Live News イット 11月23日 夕方ニュース



TSK Live News イット 11月23日 夕方ニュース  
全国ニュース!!!!



日御碕に賑わいを取り戻そう！灯台は最高のステージ！「灯台FES日御碕2024」を開催しました

2024年11月23日（土）11時30分～19時 出雲日御碕灯台エリア（出雲市大社町）

高と日本プロジェクト広報事務局 2024年11月28日 12時30分

日御碕・防備灯台利用プロジェクトコンソーシアムは、2024年7月に大雨災害に見舞われた日御碕の復興を目指し「上を向いて行こう！」をテーマに、11月23日（土）に出雲市大社町日御碕で「灯台FES日御碕2024」を開催しました。地元アーティストのステージやグルメ、災害復興資金や様々な商品が出た抽選会などを実施し、県内外から2200人余りが訪れました。

このイベントは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、灯台を中心にした地域の海の記憶を語り直し、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創出していく「海と灯台プロジェクト」の軌成を挙げて実施したものです。



イベント概要

- ・イベント名 灯台FES日御碕2024
- ・開催概要
  - 地元アーティストによるステージイベント・グルメ攤台・災害復興資金・抽選会
  - 旗幟式旗竿・灯台コイトアップ・行灯による相模湾ライトアップ
- ・開催日 2024年11月23日（土）
- ・開催場所 出雲日御碕灯台エリア
- ・来場者 約2200人
- ・協力団体
  - 日御碕十津宮神社・日御碕地区社会協会・日御碕を楽しくする会
  - 日御碕コミュニティセンター、ミサキどっとCome

＜開催背景＞

出雲市大社町の日御碕地区は、出雲日御碕灯台や日御碕神社を有する観光スポットですが、2024年7月に発生した大雨で市街地と月形地区を繋ぐ県道が断壊し、観光客による通行が可能な状態になった後も、観光に繋がっていません。「日御碕の復興を日御碕、地域を元気にしていきたい！」そんな思いを込め、フェスのテーマを「上を向いて行こう！」としています。

出雲日御碕灯台を有する日御碕エリアは、山陰を拠点に活動するアーティストたちの集まるにぎやかな町、地元の美味しいグルメを堪能したり、行灯の光が夕日や星を彩る光景が広がったり、旗幟式旗竿や灯台コイトアップなど多様なコンテンツが楽しめる。フェスと合わせて、出雲日御碕灯台の魅力と、周辺エリアの美しい景観や地元の食を体験し、思い出の時間を過ごすイベントです。

多彩なアーティストのステージを堪能

灯台広場の特別ステージには、山陰を中心に活動するミュージシャンやアーティストなどが次々に登場して歌やダンスを披露。県内外から訪れた来場者が、懐きのグルメを味わいながらステージを満喫しました。旗幟式旗竿キャラクター「しまねっこ」のダンスに合わせて子どもたちも踊り、アイドルグループ「フワッパトリックス」の出演には、ファンも駆けつけてステージを盛り上げました。



PRTIMES 2024年11月28日掲載



大雨災害から約5か月 日御碕の元を取り戻そう！「灯台FES日御碕2024」開催！災害復興資金や豪華賞品が当たる抽選会も

2024年11月23日（土）11時30分～19時 出雲日御碕灯台エリア（出雲市大社町日御碕）

高と日本プロジェクト広報事務局 2024年11月11日 13時00分

日御碕・防備灯台利用プロジェクトコンソーシアムは、日御碕の復興を目指し「上を向いて行こう！」をテーマに、2024年11月23日（土）に「灯台FES日御碕2024」を開催しました。当日はアーティストの演奏や地元グルメ、出雲日御碕灯台ライトアップ、災害復興資金、豪華賞品が当たる抽選会なども実施します。

このイベントは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、灯台を中心にした地域の海の記憶を語り直し、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創出していく「海と灯台プロジェクト」の軌成を挙げて実施します。

イベント特設サイト：<http://toudai-fes-hinomisaki.jp/>



＜開催背景＞

日御碕地区は出雲日御碕灯台や日御碕神社を有する観光スポットですが、2024年7月に発生した大雨で市街地と月形地区を繋ぐ県道が断壊し、観光にも影響が出ています。観光客による通行が可能な状態になりましたが、県道復旧の進捗は遅くありません。「日御碕の復興を目指し、地域を元気にしていきたい！」そんな思いを込めた開催となります。

＜イベント概要＞

「灯台FES日御碕2024」は、石燈台で日本の歴史を語る出雲日御碕灯台をテーマに、音楽とグルメの小さなフェスティバルです。島根を拠点に活動するアーティストたちの集まるにぎやかな町、地元の美味しいグルメを堪能したり、行灯と高木夕日や星を彩る光景が広がったり、旗幟式旗竿や出雲日御碕灯台コイトアップなど盛り上がるコンテンツをご用意しています。出雲日御碕灯台の魅力と周辺エリアの美しい景観や地元の食を体験し、家族・友人・仲間たち、お一人の方も灯台とそばに思い出の時間を過ごすことができます。同地区の観光客を支援する旗幟式のキャラクターも11月1日に登場しました。みんなでフェスを楽しめながら、日御碕の元を取り戻しましょう。

イベント名	灯台FES日御碕2024
日時	2024年11月23日（土）11時30分～19時00分
会場	出雲日御碕灯台エリア（出雲市大社町日御碕）
アクセス	県出雲市駅から車で約30分 出雲大社から車で約15分
地区別会場	日御碕会場（高1・高2） 臨時会場：日御碕コミュニティセンター、日御碕多目的運動広場 ※上記会場を回る無料シャトルバスも運行します
ステージプログラム	11:30 開場 11:45 オープニング 《旗幟式旗竿》：テーマソング「上を向いて行こう！」 12:00 ステージ①「旗幟式旗竿キャラクターしまねっこ」 13:00 『お祭りのはらへこ抽選会』日御碕エリア内で使える商品券が当たる！ 13:30 ステージ②「よしの楽隊」 14:30 ステージ③「Road Lyrics」 15:30 『3時のイカ祭り抽選会』日御碕観光イカ祭りなど各種賞品が当たる！ 16:00 ステージ④「AGH with 旗幟式旗竿」 17:00 ステージ⑤「DX+」

PRTIMES 11月11日掲載

# 今後について

## A. 事業について

## 課題

## 灯台FES日御碕の魅力向上

2年連続で音楽FESを開催し、出演側、参加者側の一定のニーズがあることはわかった。灯台でFESをする非日常的な特別感は唯一無二だが、より魅力的で、多くの人が来てみたいという空間を演出していかないと、続かないと感じている。



## 施策

- ◎地元若手チームと、地元住民が集まりたいというアットホームなイベントにさらにしていく。
- ◎商工会が初参加の意向を示しているので、化学反応ができるよう調整していく

## B.実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

## 課題

## ボランティアを増やす必要がある

ブース以外は、スタッフをほぼ全て外注している。これが、経費がかさんでいる原因。収入を増やす協賛増か、経費削減をしていく必要がある。



## 施策

- ◎今年からチームに加わった、地元若手チームとの連携をさらに強くしていく。普段から独自のイベントに携わっている人たちなので、とても心強い存在。生まれも育ちも日御碕の方々なので、地元からの信頼も厚い。
- ◎上記のチームをサポート、支援してくれる地元の自治体との関係も向上しつつある。自治会が動くと、地元600人の住民が大きく携わってくれる。

## C.収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

## 課題

## 魅力化がさらに必要

音楽FESを開催するためのステージ設置、音響、照明は、経費がかなりかかる。来年度の実施には、TSK以外の協賛金が数百万円以上必要である。そのためには、協賛したくなる、さらなる魅力化が必要。



## 施策

- ◎商工会との連携で、イベント開催の原資を増やしていく。
- ◎昼のみの開催にして、照明設備なし、経費削減。

2023初開催は3300人が来場、2024開催は2200人、2025年は5,000人以上を目標に、バズるイベントにしていく。  
集客アップで、協賛増を図り、自走化へ

## 【今後の計画】 灯台FES日御碕2025～バズるFESへ～

ホップ、ステップ、ジャンプへ！

💡 地元商工会議所と連携した企画と協賛セールス

💡 地元若手チームと自治会による住民参加型イベントへ

💡 音楽とグルメと灯台のコンセプトは継続

💡 人気コンテンツとのコラボで、灯台新価値の創出

💡 日本一の灯台の魅力発信



## 事業名：灯台FES日御碕2025

助成金終了後、本事業は新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
✓	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

# 資料



【運営マニュアル】

<https://app.box.com/file/1790319344603>